資料1-2-2

食料·農業·農村政策審議会 企画部会(平成26年4月22日) 提出資料

現行の食料自給率目標等の検証②

平成26年4月

農林水産省

目次

更なる検証の方向(第3回企画部会資料)				
食料自給率目標等の検証②	2			
カロリーベースの食料自給率の近年における変動要因	27			
今後の食料消費の動向	28			
食料自給率目標等の検証結果のまとめ	33			
農地面積の見通しの検証	34			

更なる検証の方向(第3回企画部会資料)

更なる検証の方向

ここまでの検証

- 食料自給率目標の進捗状況については、カロリーベースの食料自給率 が目標から乖離している状況にあるが、生産面では、米粉用米、小麦等 が目標から大きく乖離していること、 消費面では、消費増を見込んだ米、 米粉用米等が予測を下回る一方、消費減を見込んだ油脂類等が予測を 上回って推移していることが要因。
- 一方、<u>生産額ベースの食料自給率</u>については、<u>畜産物の消費と生産が</u> <u>見込みに沿って推移したことから堅調な状況</u>。
- 〇 また、現行の食料自給率目標については、平成12年及び平成17年の基本計画における目標設定とは異なり、平成20年以降の穀物価格の大幅な上昇等を踏まえ、カロリーベースを引き上げるように、各品目の生産数量目標を設定し、その結果、カロリーベースを50%、生産額ベースを70%と設定。
- 〇 <u>農地面積</u>については、<u>減少抑制効果が見られるものの、緩やかな減少傾向が継続</u>し、平成32年に食料自給率50%を達成するための基礎とした461万haからは徐々に乖離してきている状況。
- 〇 また、食料の供給に関する特別世論調査によると、8割以上の人が「将来の食料供給に不安がある」と感じ、その理由について、8割以上の人が「国内生産による食料供給能力が低下するおそれがあるため」と回答し、9割以上の人が「食料自給力を高める必要がある」と認識。
- <u>1人1日当たりの総供給熱量</u>については、人口の高齢化等の影響により、 想定した以上に減少している状況。

課題

○ 現行の食料自給率目標が、 食料・農業・農村基本法に定められているように、「国内の農業 生産及び食料消費に関する指 針」となっているか、品目別の 生産数量目標について、①施 策の取組状況とその効果、② 施策の妥当性、③目標設定の 妥当性の観点からしっかりと分 析する必要。

- 多くの国民が、国内生産による食料供給能力の低下に不安を感じ、「食料自給力」を高めるための取組が必要と認識する中、 国民に対して分かりやすい形で 「食料自給力」を伝える必要。
- 食料消費の動向について、 人口の高齢化等の観点からさ らに検証する必要。



食料自給率目標等の検証②

生産数量目標の進捗状況(平成24年度)

- 各品目の生産量が目標に向けて推移しているかどうかを判断するため、<u>平成24年度における進捗度を中心に目標に対する比率(目</u>標比率)と併せて評価。
- 平成24年度の進捗度については、基準値と目標値を結ぶ直線に沿って推移しているかどうかで評価。
- ① A評価:目標に向かって推移(進捗予定値からの乖離度がO%以上)
- ② B評価: 概ね目標に向かって推移(進捗予定値からの乖離度が0%未満-1.7%以上)(注)
- ③ C評価:目標から乖離して推移(進捗予定値からの乖離度が-1.7%未満)
- 次に、<u>平成24年度の目標比率</u>については、<u>現状値が目標値に対してどの程度の水準にあるか</u>で評価。
- 評価の結果、<u>畜産物</u>については<u>進捗度が概ねA評価、目標比率も95%以上</u>である一方、<u>耕種作物</u>については<u>「そば」を除いて進捗</u> 度がC評価であり、特に米粉用米、小麦、大豆等の目標比率は50%を下回っている状況。

○進捗度の評価方法の概念図

牛産量等 A評価 目標値 A評価 B評価 5% (対目標値) B評価 1.7% C評価 基準値 C評価 12年(1) 4年(1/3) 平成24年度 平成32年度 平成20年度

注:平成24年度の進捗度は、平成32年度目標の達成度を基準として、平成24年度は平成32年度目標に対して3分の1が経過していることを踏まえて評価。したがって、B評価については、平成32年度で目標からの乖離度が5%以内、平成24年度でその3分の1の1.7%以内と評価。

〇評価結果

(単位:万トン)

	H20	H24	H24 H32	H24 H24	H32	H32	進捗		
	[基準]	[現状]	[進捗予定]	_	進捗予定からの 乖離度	評価	↑目標比率 ┃		
米 (米粉用米・飼料用米除く)	881	849	873	855	▲ 3%	С	99%		
米粉用米	0.06	3.3	17	50	▲ 27%	С	7%		
飼料用米	1.0	16.7	24	70	▲ 10%	С	24%		
小麦	88	86	119	180	▲ 18%	С	48%		
大麦・はだか麦	22	17	26	35	▲ 26%	С	49%		
そば	2.7	4.5	3.8	5.9	+12%	Α	76%		
かんしょ	101	88	102	103	1 4%	С	85%		
ばれいしょ	274	250	279	290	▲ 10%	С	85%		
大豆	26	24	37	60	▲ 23%	С	39%		
なたね	0.16	0.19	0.44	1.0	▲ 25%	С	19%		
野菜	1,255	1,197	1,273	1,308	A 6%	С	92%		
果実	344	303	342	340	▲ 12%	С	89%		
牛乳·乳製品	795	761	796	800	▲ 4%	С	95%		
牛肉	52	51	52	52	1 %	В	99%		
豚肉	126	130	126	126	+3%	Α	103%		
鶏肉	140	146	139	138	+5%	Α	106%		
鶏卵	254	251	251	245	+0%	Α	102%		
てん菜	425	376	410	380	▲ 9%	С	99%		
さとうきび	160	111	160	161	▲ 31%	С	69%		
茶	9.6	8.6	9.5	9.5	▲ 10%	С	91%		
飼料作物	436	400	466	527	▲ 13%	С	76%		
(参考)									
魚介類	503	430	525	568	1 7%	С	76%		
- 海蕩粨	11	11	12	12	▲ Q 0/	_	020/		

魚介類	503	430	525	568	▲ 17%	С	76%
海藻類	11	11	12	13	▲ 8%	С	83%
きのこ類	45	46	46	49	▲ 0%	В	94%